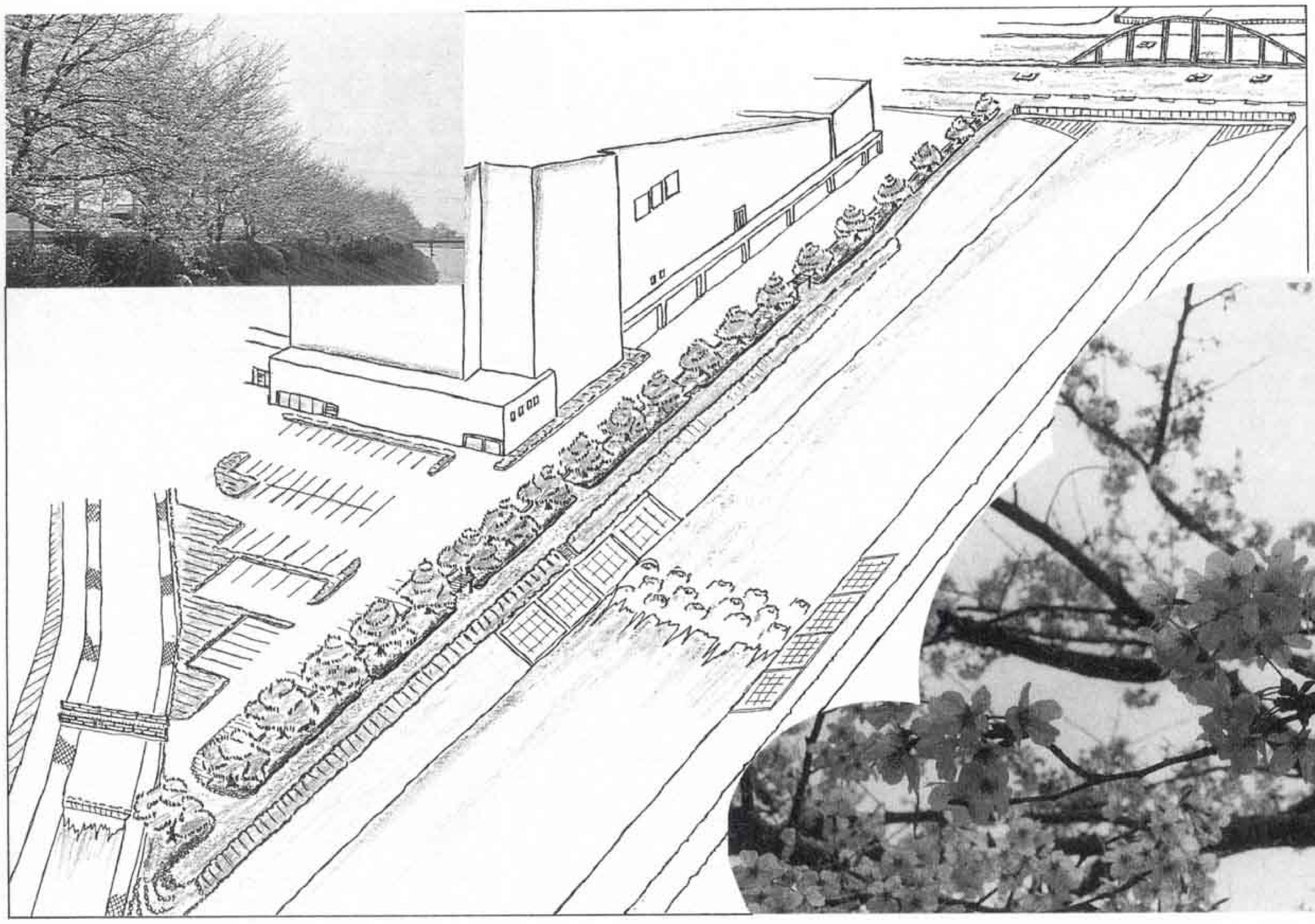

潤井川の堤が桜の名所に

潤井川の堤を桜の名所にしよう……。今そんな計画が進められています。

最初に整備されるのは、建設中の文化会館東側の堤約二百メートルです。桜と水辺の憩いの空間が、ここから広がっていきます。

ここに桜並木が欲しかった

「提案ですが、潤井川の土手を桜並木にしてください」……。こんな内容の「市長への手紙」を、春先によくいただきます。

そんな皆さんの夢が、今度実現することになりました。これは建設省が進めている「桜づつみモデル事業」に潤井川が選ばれたためです。

市内で最も注目されている水辺

中央公園と建設中の文化会館の間を流れる潤井川は、街の中心に位置する川。川の周辺の整備が進むにつれて、快適な水辺空間として市民の注目度が年々高まっています。

「桜づつみモデル事業」に選ばれる条件の一つに、市や市民が水辺空間の整備に高い熱意を持っている川、という項目があります。潤井川はまさにうってつけの川だと言えます。

来年の春をお楽しみに

計画では、山橋(源平橋の上流)から下流の潤井川の両岸約二千七百メートルが対象となっています。

今年度整備されるのは、文化会館の北側に接する堤防で、長さ約二百メートルの間に寒ザクラが植えられます。そして、早ければ来年の春には花が咲く見込みです。

全体の桜並木ができあがるにはまだまだ長い年月がかかりますが、毎年春の来るのが楽しみですね。

△提防の整地も終り、まもなく桜が植えられます。

問い合わせ
みどりの課　内線2665

桜づつみで楽しい出合いを

毎年、中央公園の桜を楽しんでいますが、また近くに名所ができて、とてもラッキーです。

私たち、この公園でお友達になったんでが、また桜づつみで新しい出会いがあるかも知れません。今からとても楽しみです。

中央公園の仲よしトリオ。左から加藤さん(高島町)井出さん(高嶺町)大石さん(前田)